シェムリアップの医療と健康

アンコール共生病院の近況・地域の医療機関・事前質問への回答

2026年11月17日 | 在留邦人向け健康セミナー

本日の内容

01 当院の近況

現在提供している診療と、今後取り組みたい医療

02 地域の医療事情

他の医療機関と、紹介・転院が必要になるケース

03 事前質問への回答

健康診断、眼科、保険、感染症、緊急時の備え

アンコール共生病院｜現在の診療

総合内科

一般診療、入院治療、健康診断など

眼科

一般外来、白内障手術
日本人眼科医が約3か月ごとに来院

耳鼻咽喉科

2026年2月に開始
一般外来、内視鏡による診察・処置
※手術は未実施

On Callでの専門診療

整形外科・泌尿器外科の医師に相談・診療依頼が可能

日本の医師によるオンライン診察・相談

こうのす共生病院の医師とオンラインで対応
30分 US$80／海外旅行保険適用外

今後、提供できるようにしたい医療

- 上部消化管内視鏡（胃カメラ）
- 下部消化管内視鏡（大腸カメラ）
- 心臓超音波検査（心エコー）
- CT検査

※ 導入時期は未定です。

他院への紹介・転院を考える場面

紹介

当院に該当する専門医がいない場合
必要な専門診療を受けられる医療機関をご案内

転院

当院でそれ以上の対応が難しい場合
必要な検査や治療が可能な医療機関へつなぐ

転院を勧める事例

デング熱

当院で入院治療は可能。
輸血の必要性を考慮する場合には、対応可能な施設への転院を勧めることがあります。

消化管出血の疑い

CTや消化管内視鏡検査、消化器専門医による管理が望ましいと判断した場合、転院を勧めます。

地域の医療機関｜紹介候補

以下は紹介候補です。受診・転院時の受け入れ条件は事前確認が必要です。

Royal Angkor International Hospital
救急・CT・集中治療／日本語サポート／日本の海外旅行保険利用可

Angkor Sante Hospital
CT・消化器専門医・上下部内視鏡

Neak Tep Hospital
一般診療・CT・婦人科・循環器

HK Medicare Angkor Polyclinic
CT検査に対応

Siem Reap Referral Hospital
公立病院・心臓外科にも対応可能・MRI導入予定

Dr. Bin Kimheng
外傷・整形外科／当院の協力医師

Angkor Hospital for Children
小児専門医療

Rathbrophea Clinic and Maternity
産科・婦人科・出産

Kantha Bopha Hospital
小児専門医療

Sokkhak Angkor Clinic
循環器内科

事前質問｜今年の感染症の傾向

「2026年に流行している病気の傾向を知りたいです」

インフルエンザ

今年は比較的早く、7月頃から流行が見られました。

デング熱

今年は患者を頻繁に診察。
当院での経験では、ほぼ全例で血小板数の低下を認めました。

発熱時は安易に解熱剤を選ばず、早めに医療機関へ相談・受診を。

事前質問｜健康診断と生活習慣病

「約3年間、健康診断を受けていません」／「糖尿病やお腹まわりの肥満が心配です」

年に一度は、簡易的なものでも定期健康診断を。

- 食生活の影響でコレステロール値が高くなることにも注意
- 糖尿病や肥満など、自覚症状が乏しい段階から健康状態を確認
- 健康診断を受ける習慣をつくる

当院の健康診断メニュー

5つのコースから、ご自身に合った健康診断を選べます。

DIABETES	$58	糖尿病に重点を置いた検査
CLASSIC	$88	血糖・脂質・肝機能・胸部X線など
MASTER	$165	基本検査に腹部超音波などを追加
GOLD	$294	甲状腺機能・ピロリ菌などを追加
PLATINUM	$483	男女別の腫瘍マーカーなどを含む検査

2026年限定 BUY 1 GET 1 FREE

1名分の料金で2名受診・日本食付き | 事前予約制・1日2組（4名）まで

事前質問｜眼科・白内障

「白内障が進み、見えにくくなっています」／「白内障の進行を防ぐには？」

日本人眼科医による診療

約3か月ごとに来院
次回：2026年12月8〜11日
診察費：2026年 US$20
2027年から US$25

白内障と日常生活

日差しが強い環境では紫外線対策を。
UVカットのサングラスや帽子を活用しましょう。

事前質問｜視野検査

「シェムリアップでは視野検査を受けられませんか？」

シェムリアップでは受けられない視野検査も、

プノンペンの日系眼科クリニック JEH（ジャパンアイホスピタル） で対応可能です。

緑内障などで検査が必要な方へのご案内先となります。

事前質問｜海外旅行保険

「海外旅行保険の保険料が高くなっているのが気になります」

- 海外旅行保険の保険料が高くなっていると感じます
- 年齢・既往歴などによる条件は保険商品ごとに異なります
- クレジットカード付帯保険は補償・適用条件の変更に注意
- 渡航前・更新時に、補償内容をその都度確認しましょう
- 日頃の健康管理と予防医療も大切です

事前質問｜ホテルでの緊急対応

「ホテルで緊急時に素早く対応するためのポイントは？」

- ホテルスタッフが近隣の医療機関を把握しておく
- 患者様の緊急度とホテルの場所に応じて連絡先を選ぶ
- 日中から体調不良でも、受診を見送り夜間に悪化する例がある
- 夜間は日中に比べ、医療機関の対応に時間を要する場合がある
- 可能な限り、早めの受診をお勧めします

事前質問｜単身生活と緊急時の備え

「シェムリアップで突然亡くなった場合の手続きは？」／「一人暮らしの緊急連絡先は？」

在留届

領事事務所に在留邦人として把握していただくことが大切。

人とのつながり

緊急時に連絡できる人・頼れる人とのつながりを。

医療の相談先

体調不良や医療に関することは当院にもご相談ください。

事前質問｜日本人医師・歯科医師

「カンボジアに日本人の医師や歯科医師はいますか？」

- 私の知る限り、当地の医療機関で診療する日本人医師は当院の加藤医師
- 当院では日本の姉妹病院の医師とオンライン相談・診察が可能（30分 US$80・海外旅行保険適用外）
- Angkor Kampuchea Dental Clinicに日本人男性歯科医師が1名勤務
- 当院には毎年6月、日本から歯科医療支援チームが来院

※ シェムリアップについて、講演者が把握している範囲の情報です。

Preventable Blindness Program（予防可能な失明を減らす）｜活動が必要な理由

シェムリアップ州の児童 779名を調査

20.3%	1.9%	15%
視力低下あり	眼科受診の経験あり	自覚がない児童にも視力低下

「見えにくい」と気づく前に、検診の機会を届ける。



2024年からの無料眼科検診実績　4,500名以上

Preventable Blindness Program（予防可能な失明を減らす）｜今後の目標

見つける → 伝える・つなげる → 仕組みをつくる

病院での無料眼科検診

年2回 × 約600名

年間 約1,200名

学校・地域での眼科検診

年10回 × 約200名

年間 約2,000名

年間 3,200名 の眼科検診を目指す

年間の活動予算：約 US$9,000（1人あたり約 US$3）

病院・学校・地域・企業・団体が協力し、継続できる仕組みへ

Preventable Blindness Program（予防可能な失明を減らす）｜4つの支援の形

企業・団体・個人が、それぞれの得意な形で活動を支えることができます。

01 資金による支援

無料眼科検診の実施・継続に必要な活動費を支援

02 ボランティアによる支援

社員・学生・団体メンバーが検診の運営に参加

03 現物・サービスによる支援

物品・飲食物・印刷・交通などを提供

04 専門性を活かした支援

技術・専門知識・サービス・ネットワークで協力

それぞれが持つ力を持ち寄り、カンボジアの眼を守る力へ。

ご清聴ありがとうございました

体調に不安を感じたら、早めに相談・受診を。

アンコール共生病院

ANGKOR JAPAN FRIENDSHIP INTERNATIONAL HOSPITAL